

国際ロータリー第2570地区

# 行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

行田クラブハウス

第1891回 例 会 (9月9日)

2004～05 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE  
R O T A R Y

100 Years

## 会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さん今晚は！  
ようやく幾らかしのぎやすい季節になってまいりました。

今年は台風の当たり年のようで、全国各地で大きな被害が続出しております。先日の18号台風、大きな被害を各地で与えたようであります。被災されました方々の、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

さて今日は、交換学生の田島早希さんの帰国報告に続いて、牧川修一先生指揮の行田男声合唱団のみなさんをお願いして、素晴らしい歌声を披露して頂くことになっております。

先日あるテレビ局の放送の中で、英語教育について「英語を教えるのではなく、英語で教えるようにしなければ解るようにならない。」とっておりました。本日の男声合唱団の皆様の演奏に際して、会員の皆様には「音楽を聞くと言うことよりも、音楽により感動を、そして心の安らぎを感じて、感性を研ぎ澄まして頂ければ」と思います。

報告ですが、先週の土曜日に地区の国際奉仕セミナーが東松山で開催され、武田会員と私で出席してまいりました。ネパールの学校建設と里親制度に付いての内容でありました。

それでは、私のつまらない挨拶よりも、田島さんの帰国報告と男声合唱団の皆様の素晴らしい歌声に時間を使いたいと思いますので、これで終わりにします。

## 来訪者のご紹介

田島早希さんとお母さん

牧川修一さんと行田男声合唱団の皆さん

## 田島早希さん帰国報告



私の留学先はアメリカ合衆国カリフォルニア州のアンダーソンビル(アトランタの近郊)で、山間地帯で交通手段は自家用車のみという誠に不便な場所で、日本で心配している両親にも手紙を出す事が困難という状況の土地でありました。

3軒のホストファミリーのお宅にお世話になりました。

1件目のホストファミリー宅はスポーツ好きの家庭で、フットボールの試合やバスケットボールの試合を観戦に行くなどスポーツを通じて、多くの友人と交流を得ることができました。

2件目のホストファミリー宅は小学校の教員をなされているお宅で、健康的な生活をなされており、食事も健康的な献立を頂く事ができました。私よりも小さな子供がおり、兄弟の少ない私には良い体験をさせて頂く事ができました。

3件目のホストファミリー宅には私と同じ年齢の子供がおり、友達の多い子で、その子を通じて多くの友達と交流する事ができました。この家庭では馬を飼育しており、馬の出産に立ち会う機会を得て感動する事ができました。また、旅行にも連れて行って頂き、多くの友達を知る事ができました。

この留学を通じて英会話が上手にできなかった私が、留学生同志との会話で少し英会話が上達したような気持ちになります。

このような機会を与えてくださった皆様方、特にRCの皆様方の温かい御支援と御協力に対して厚く御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

## 紹介（持田朋春会員）

本日の卓話をなされる牧川修一先生は、武蔵野音楽大学の御卒業で1980年から81年までローマに留学なされ、1993年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアにて研鑽。

1974年の二期会新入オペラハイライト公演で、「リゴレット」のマントヴァ公爵でデビュー。以後、主に宗教曲のソリストとして活動。

1975年、NHK「天地創門」では芸術祭奨励賞を受賞。またオペラ活動は二期会に留まらず、国内のオペラプロダクションには欠く事のできないテノールとなっている。

2001年11月より、二期会創立50周年公演「ホフマン物語」、2002年2月「フィガロの結婚」2002年7月「マイスターズィンガー」等に出演。1993年より行田男声合唱団の指導にあたる。

現在、二期会会員、二期会オペラスタジオ講師、桐棚学園大学声楽科講師をなされています。

1. いざ起て戦人よ（藤井泰一朗・作詞／グラナハム・作曲）

## 【 日本の四季・メドレー 】

1. 春よ来い（相馬御風・作詞／弘田龍太郎・作曲／松浦真沙・編曲）
2. 早春賦（吉丸一昌・作詞／中田章・作曲／松浦真沙・編曲）
3. おぼろ月夜（高野辰之・作詞／岡野貞一・作曲／松浦真沙・編曲）
4. せいくらべ（文部省唱歌／松浦真沙・編曲）
5. 我は海の子（文部省唱歌／松浦真沙・編曲）
6. 夏の思い出（江間章子 作詞・中田喜直 作曲・松浦真沙 編曲）
7. 秋の月（滝廉太郎・作詞／滝廉太郎・作曲／松浦真沙・編曲）
8. 赤とんぼ（三木露風・作詞／山田耕筰・作曲／松浦真沙・編曲）
9. たき火（巽聖歌・作詞／渡辺茂・作曲／松浦真沙・編曲）
10. ペチカ（北原白秋・作詞／山田耕筰・作曲／松浦真沙・編曲）
11. 雪の降るまちを（内村直也・作詞／中田喜直・作曲／松浦真沙・編曲）

## 【 愛唱歌 】

1. さらば青春（小椋佳・作詞／小椋佳・作曲／福永陽一郎・編曲）
2. 涙君さよなら（浜口庫之助・作詞／浜口庫之助・作曲／小池義郎・編曲）
3. ステン・カラージン（ロシア民謡／小野光子・訳詩）





謝辞（永島健雄会員）

今夕は素晴らしい歌声を拝聴する事ができました。ストレスを解消するには音楽が最適であります。楽しい夕べを過ごす事ができ、ありがとうございました。

※行田男声合唱団16名の中に、黒淵会長と諸貴ガバナー補佐の御二人がおられました。御二方とも合唱を楽しまれておられる様子が強く感じられ、御多用の中にあつての活動で時間の有る無しには関係なく、興味を持ち関心を持つ事の重大なる事を勉強させて頂きました。我が行田RCの活動も左様なるべしと感じました。



